

45 危機管理・リスク管理研修Ⅱ

【合同研修】

～所属長として知っておきたいリスク管理を学ぶ(BCP等含む)～

目的	組織運営や業務執行上で発生する不測事態やリスクに適切に対応できる能力を習得するとともに、リスクに強い組織構築のための知識や手法を学ぶ。			
内容	平時・有事の両場面において、リスク管理・危機管理を適正かつ戦略的に実行するための「知識と能力」について再確認する。特に、「内部統制」を踏まえた組織におけるリスクマネジメント、メディア対応の基本的な姿勢や説明のポイントなど幅広く、重要テーマごとの事例演習を通じて、平時のリスク管理、有事の危機管理の両面から実務ノウハウを学ぶ。			
実施年月日	令和6年10月31日(木)	定員	48名(市町村職員12名 県職員36名)	
対象者	(市町村) 課長補佐等以上の職員 (県) 課長補佐級、課長級キャリアアップ研修対象者で受講を希望する職員			
実施場所	大分県自治人材育成センター			
推薦期限	令和6年 9月17日(火)	《第12回》	経費内訳	内訳表1
指定ホテル	—		その他留意事項	—
研修講師 (プロフィール)	<p>【一般社団法人 日本経営協会 講師 森 健(もり たけし)氏】</p> <p>1966年生まれ 開成高校、慶應義塾大学法学部法律学科卒業。 大学卒業後、静岡県下田市役所に入庁。 税務課、建設課、総務課での勤務、静岡県庁防災局への出向を経験。 下田市経営戦略会議の設置など内部統制導入時代を先取りした行政改革への新たな手法導入や、県庁における危機管理マニュアル策定プロジェクト責任者等の危機管理体制強化の実務に携わる。 下田市役所退職後、2007年から自動車部品グローバルメーカーの住友電装(株)にて、リスク管理体制再構築やBCP策定、全社的な人事・労務・安全管理・採用から人材育成まで幅広く携わる。2011年から大手アウトソーシング系企業で内部統制、コンプライアンス、リスクマネジメント、上場プロジェクトの法務責任者を務める。 2015年に独立し、官公庁や都道府県、区市町村、民間企業、大学での講義、法律書の執筆や法律雑誌への寄稿等幅広く活動している。</p> <p><主な著書>「地方自治体のリスク管理・危機管理」 「図解 新任役員のための法務・リスクマネジメント」 「企業法務入門テキスト ～ありのままの法務～」</p>			
受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・事例を挙げながら、現在の常識的にセーフかどうか解説していただき、非常にわかりやすかった。不祥事がなくならない現状、自分の常識と世間とのずれも確認できるので、定期的に受講した方が良い。 ・行政経験も民間経験もある講師で話題も豊富な方だったので、研修内容はとてもためになりました。内部統制制度の本音、本質が聞けたことも良かったです。 ・内部統制に関してこれほどの背景があって成立したエピソードは非常に参考になりました。その他、様々な観点からのリスクマネジメントに関するお話はとても興味深かったです。 			
備考	※名称変更 (R5年度は「危機管理・メディア対応研修Ⅱ」名で実施)			

時 間 割									
	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
	8:50	20	30					30	
1 日 目		オリエンテーション	1 導入講義 グローバル&劇的な変化への対応 危機管理・リスク管理の枠組み など	昼 食		3 「有事」における対応方法 (1) 危機管理体制(対策本部体制)の持つ意味 (2) 有事に「動ける組織」を目指す (3) メディア対応の基本			閉 講
			2 「平時」における重点取組事項 (1) コンプライアンスの徹底 (2) リスク管理・危機管理体制の強化 地方公共団体における「内部統制」 (3) ハラスメント防止 (4) メンタルヘルス対策 (5) 職場内の人材育成			4 まとめと質疑応答 (1) 「訓練できないことは実践はできない」 (2) 質疑応答			

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、予めご了承ください。